



合奏部 クリスマスミニコンサート ～練習の成果を精一杯発表しました～

新型コロナウイルス感染症との関わりで、今年度は多くの発表の機会が失われてしまった合奏部。11月に発表を行った合唱部同様にこれまでの練習の成果を発表したい、音楽の楽しさを伝えたいという子ども達の思いを受け、16、17日の昼休み時間を使って「クリスマスミニコンサート」が開かれました。「密」をさける意味合いから、児童の参観は、1・3・5年生・わくわく学級と2・4・6年生・すくすく学級に分け、2日間行いました。足下の悪い中、保護者の皆さんもたくさん見に来てくださいました。子ども達は堂々と、3曲発表してくれました。合奏部の子ども達は、大きな拍手を受け、大きな喜びを得たようでした。下級生たちも合奏部の素敵な演奏を聞いてあこがれをもったことと思います。すばらしい発表をしてくれた合奏部の皆さん、本当にありがとうございました。発表の陰に隠れた部員の皆さんの練習の量・努力の量はまさに「+α」の取り組みでした。また、見に来てくれていた子ども達の態度も立派でした。子ども達の成長を感じ感動しました。



合奏部にしても、合唱部にしても、学校としての目標は「音楽の楽しさを味わい、生涯にわたって音楽を楽しめる素地をつくること。」大会がない、練習ができない等いろいろな制約のある中、音楽を楽しむ子ども達の姿を見て、あらためて特設部の在り方を考えていました。

クラブ活動見学会

～自分たちがやりたいことを自分たちの手で～

17日、3～6年生でクラブ活動見学会を行いました。4～6年生にとっては今年度「最後のクラブ活動」になり、まとめ・ふり返りの意味があり、3年生にとっては、4年生から始まるクラブ活動はどんなものなのかを感じる時間としての意味がありました。クラブ活動は「望ましい人間関係」「個性の伸長」「自主的、実践的な態度」の育成を目指して行われているもので、学年や学級が異なる同好の児童の集団によって行われる活動です。言い換えれば、異年齢の集団の中で自分たちがやりたいことを自分たちで成し遂げていく活動になります。今年度は、コロナ禍の影響で時数も少なくなっただけでなく、子ども達にとっては残念なところもあったかと思いますが、次年度どんな活動が生まれてくるのか楽しみにしています。

